



幼稚園だより

令和5年度
5月号

学ぶことはまねぶこと

令和5年4月28日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

新緑のきれいな季節になりました。園庭で遊ぶ子どもたちも汗をいっぱいかきながら走り回っています。

入園・進級してから約一か月がたちました。張り切って登園していた子ども、不安と緊張でドキドキしていた子ども少しずつ新しい生活に慣れてきたように感じます。

新しい環境の中で子どもたちは自分なりに探索をして、遊び出しています。昨年やっていたことを思い出したり、新たな遊具や材料を取り入れたりしながら遊んでいます。ある日、Aちゃんが空き箱を組み合わせながら製作をしていました。Aちゃんが作り終わって、机からいなくなった後にBちゃんがやってきました。Aちゃんが使っていた空き箱と同じ空き箱を手に持っています。そして、Aちゃんが作っていた形と同じようにセロハンテープでとめていきました。きっとAちゃんが作っていたものがとても魅力的で、まねして作ってみよう！と思ったのでしょう。考え考えしながら無事作り上げていました。

“学ぶことはまねぶこと”とよく言われます。それは身近な小さなことから始まっています。先生のやっていることをまねしてみよう、友達のやっていることをまねしてみようと幼稚園の生活の中でもたくさん“まねてみよう”と思うことがあります。きっとご家庭の中でもお家の人のまねをしていることがたくさんあるのではないのでしょうか。憧れや好奇心が心をくすぐるとき、子どもたちはまねることをします。それは大きな学びの第一歩です。どんなことが心をくすぐるのかは子どもによって様々です。

5月はこどもの日があります。すべての子どもたちが健やかに成長することができる社会でありたいですね。幼稚園の空にはためいているこいのぼりたち。湯島の子どもたちがどんどん大きく成長することを願って、毎日眺めています。



ゆり組が作ったこいのぼりのしたを
自分が作ったこいのぼりを持って、
思いっきり走っている

ばら組の子どもたち！
空まで駆け上がっていきそうです！